

第12回クォーク例会報告報告

上木朋子です。

本日、クォーク例会を行いました。

『理科まとめくん』の改訂作業についての打ち合わせや
T O S S デー理科会場の内容の検討など、
サークル独自の企画があって、ちょっぴりカラーが
出てきたかなと感じる例会でした。

来月は、クォーク例会1周年です。

10月10日(土)に福井市社北公民館にて行う予定です。

【第12回クォーク例会報告】

日時：9月12日(土)午後1時～4時

場所：福井市社北公民館

内容：

古橋先生 4年理科『月の動き』

ヘッドアースモデルでどう授業するかの相談。

ヘッドアースキャップの作り方から上木が説明。

4年生では、日によって月の形が変わることを
教えるのだが、教師が太陽と月と地球の位置関係について
分かっていないと指導がややふやになる。

大人でも分かっていない人の多い位置関係。

古橋先生に説明するときに、向山型算数風に基本形を示した。

太陽の方角から時刻を判断する(「太陽が東だから日の出」など)

月の位置と形を見る(「南の空に出ている月は半月」など)

それを、体を回転させて時刻を変えて言ってもらった。

「真昼に 南の空に出ている月は新月」といった具合。

古橋先生は、まだ自信がなさそうだったので、

なんども練習して欲しい。

その上で、1ヶ月で変化する月の形を子どもたちに

ヘッドアースモデルで体感させる授業を考えた。

木村先生 「向山一門最先端セミナー」での学び

セミナーで学んだことを、レポートにまとめてきたところが
すばらしい。

私もサークルに入りたての頃は、セミナーでの学びを

レポートに書いて持っていった覚えがある。

木村先生のレポートを見て、最近やっていなくてもったいないことを
していると反省した。

田畑先生 『理科まとめくん』改訂作業について

春の草花として、どんな種類の草花を取り上げるとよいかを検討した。
全国で通用するもので、メジャーなものというとその場で
簡単に決められない。
その場にいる者が分かる草花を挙げて、あとは『わくわくずかん』を
参考にピックアップするとよいということになった。
もう一つ、選択肢の作り方についても検討した。
パターンがいくつかあるので、そこから選ぶことに。
3年生が答えやすい問題作りが一番大事。

上木 「T O S Sデー理科会場」の内容検討
理科が苦手な先生対象の内容について意見をもらう。
・はじめの授業で子どもを引きつける授業開きのネタ
・はじめにしつける理科室の使い方
・実験がスムーズにできる準備と後始末の方法
・野外観察を成功させるコツ
・生活科にも役立つ観察カードの書かせ方
・教室で行える天体の授業
・やんちゃ君に対応するグループ実験のさせ方
・実験での失敗やトラブルへの対応法
・時間内に実験を行うマネジメント術
・理科の時数が足りなくなることを防ぐ方法
・授業でのデジカメの使用術
といった意見が出た。
これをもとに、内容を詰める。

上木 「サマーセミナー」&「向山・小森型セミナー」での学び
前回のサークルでは時間がなくてできなかったので、
1ヶ月遅れになったが、私の学びを紹介。
向山先生と小森先生から学んだことを話した。

山本 W i k i の使い方
クォークのページを紹介してもらって、編集の仕方を
デモンストレーションしてもらった。
メールで読むより、実際にやって見せてもらった方が、
百倍以上分かる。
T O S Sデーのページの作り方や論文作成のページについても
解説してもらった。